

平成21年4月24日

報道機関各位

健康福祉部健康増進課感染症・疾病対策グループ
担当者名 吉田、黒川
電話番号 0776-20-0348、0352
県庁内線番号 2620、2628

ノロウイルス等による感染性胃腸炎対策について

感染性胃腸炎は、社会福祉施設や児童福祉施設での集団発生につながりやすく、一般的には1週間程度で軽快しますが、寝たきりの方が吐物で誤嚥性肺炎を起こしたり、激しい下痢で脱水症状になることもあり、ときには命に関わることもあります。

今般、新潟県の介護老人保健施設において、ノロウイルスによる集団感染が発生し、2名が死亡したとの報道がなされたところです。

また、感染症発生動向調査結果によると、県内の感染性胃腸炎による患者数は2週連続で増加し、平成21年第16週（平成21年4月13日～4月19日）では、1定点あたり22.82人と大きな流行の発生が疑われる状況となっています。

（福井県感染症情報ホームページ<http://www.erc.pref.fukui.jp/kansen/>参照）

このことから、感染性胃腸炎の感染予防対策の徹底を図るため、本日付けで各課を通じ各関係施設等（1,208施設）あて発生予防および感染拡大防止対策（別紙参照）の徹底を通知いたしました。

なお、集団発生を防止するためには、施設等における感染予防のほか、施設等への持込みを防ぐことも重要であり、県民一人ひとりの感染予防が重要になってきますので、予防策を広く周知していただきますよう、よろしく申し上げます。

感染性胃腸炎の予防について

1 原因となる病原体は何ですか

感染性胃腸炎は、多種多様な原因によるものを含む症候群であり、細菌、ウイルス、寄生虫が原因の病原体となりえます。感染性胃腸炎の原因となる代表的なウイルスとしてノロウイルスがあります。

2 どんな症状ですか

ノロウイルスは乳幼児から高齢者にいたる全年齢層で急性胃腸炎をおこします。潜伏期間はおおよそ24～48時間で、下痢、嘔吐、嘔気、腹痛などが主な症状です。発熱は軽度です。一般的にはこれらの症状が1～2日続きます。免疫力の弱い乳幼児や高齢者は症状が重くなる場合があるので、注意が必要です。

3 どのように感染しますか

ウイルスに汚染されたカキなどの二枚貝の摂取による場合と感染者の便や吐物からの二次感染による場合があります。前者の場合は、ウイルスに汚染されたカキを生のまま、あるいは加熱不足で食べることにより感染します。また、後者の場合、患者の便や吐物で汚染された人の手や食品を介し感染したり、ウイルスがトイレのドアノブや蛇口のトッ手などに付着し、さらにそこから人の手を介して口に入ることによって感染します。

4 どうやって予防したらいいですか

ノロウイルスは、**感染力が強く、100個程度でも感染・発症する。患者の便や吐物には大量に存在する。感染力を長期間保持する。消毒や加熱に対する抵抗力が強い。くり返し感染する。(一度感染すると感染しないということはない。)**といった特徴があります。このため、次の点に気をつけてください。

- ・カキなどの二枚貝は十分加熱しましょう。(中心温度85℃以上で1分間以上)
- ・十分に手洗いをしましょう。特に調理前やトイレの後、カキなどの二枚貝を調理した後は特に注意してください。
- ・カキなどを調理する際は、他の食品や調理器具が汚染されないよう注意してください。
- ・下痢などの症状がある人は、食品を扱わないでください。ノロウイルスによる胃腸炎の場合、症状がなくなっても2週間程度は便にウイルスを排出するといわれていますので、症状がなくなっても注意してください。
- ・患者の便や吐物はきちんと処理してください。処理するときは、直接触れないよう、また、オムツ交換や吐物の始末にあたっては、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒、手洗いを十分にしましょう。塩素系の漂白剤(使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。)
- ・施設の管理者は、入所者や職員の健康状態の把握に努めてください。

一人ひとりが感染しないよう、また感染源とならないよう気をつけましょう。

このほか、厚生労働省ホームページ(ノロウイルスに関するQ&A)を参考にしてください。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>